



2020年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 清雄  
コ ー ド 番 号 3 0 8 8 東 証 一 部  
問 合 せ 先 経営企画本部広報部長 高橋 伸治

TEL ( 0 4 7 - 3 4 4 - 5 1 1 0 )

## 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月13日に公表いたしました2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2020年5月13日に公表いたしました2021年3月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異

(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	265,000	9,500	10,000	6,500	63.33
今 回 実 績 ( B )	273,846	14,496	15,541	9,729	94.79
増 減 額 ( B - A )	8,846	4,996	5,541	3,229	
増 減 率 ( % ) ( B 対 A )	3.3	52.6	55.4	49.7	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期第2四半期)	300,415	18,424	19,637	12,952	126.21

## 2. 2021年3月期通期連結業績予想値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表(A)	570,000	30,500	33,000	21,000	204.60
今回修正予想(B)	570,000	35,000	37,700	23,800	231.86
増減額(B - A)	0	4,500	4,700	2,800	
増減率(%)(B対A)	0.0	14.8	14.2	13.3	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	590,593	37,563	39,985	26,176	255.04

## 3. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響による出入国制限等に伴うインバウンド需要の減少、外出自粛や在宅勤務推進、営業時間の短縮、テナント店舗での臨時休業等により、繁華街や都市型店舗を中心に影響を受けました。

一方、郊外型店舗や地域事業会社の店舗においては、マスクや除菌関連及び日用品や食品などの特需が継続したことで、売上高及び利益に寄与いたしました。

また、データ分析による効果的な販促施策の実践及び重要業績評価指標(KPI)管理による収益改善が寄与しただけでなく、追加の経費抑制策等も奏功いたしました。当第2四半期会計期間に入りますと、繁華街や都心店舗において第1四半期から比して客数が回復してきたことも更に寄与し、2020年5月13日公表の業績予想を上回る結果となりました。

通期の連結業績予想については、2020年5月13日公表の連結業績予想において、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大による影響が上期まで継続する」と仮定して公表いたしました。全国での緊急事態宣言の解除以降、日本国内の経済活動も緩やかに回復へ向い、日本政府による渡航中止勧告が2020年10月より段階的に解除するなど、インバウンド需要に対する回復期待は持てるものの、繁華街や都市型店舗を中心としたインバウンド需要低迷の現況は、当期末までは継続すると計画を見直いたしました。

一方で、経費抑制に向けた継続的な改善と郊外型店舗や地域事業会社の店舗における売上高及び利益の増加と株式会社ココカラファインとの資本業務提携契約に伴うシナジー獲得が見込めることも鑑みて、2021年3月期下期(2020年10月1日～2021年3月31日)の業績予想を、2020年5月13日公表の予想から見直いたしました。

### 【留意事項】

上記の業績予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報と予測に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上